

菊池短歌会

5月詠草

外食とて出でし夕を上弦の月の朧ろにふと立ち止まる
岩木 妙子
宮苑の老樟いよよ盛んなり象座すごとく四方に根を張る
氏岡 百枝
見上ぐれば父の遺せし肥後椿つらつら咲けり春もをはりに
梅田 昭子
物事を適当にし置く性分なり反りきはやかに鬼ユリは咲く
古賀 勝士
「般若心経」再度唱へて凹凸の二と日鎮めてベツトに入る
佐々木かつえ
雖もみに光散らして竹落葉寒の戻りを誘ふごとし
中川 愛子
ふくふくと草の匂へばかはたれの畦刈るひとにも
怒留湯健蓉
の言ひにけり
やうやくに自転車こぎゆく幼な等の声の飛沫に初夏明り
村上 咲江
隣家にワインカラーのバラ咲きて鬱なる私の心を開く
山代 静子
「がんばつて」手を合わせては声に出す「助けてあげて」と亡鬼も呼びて
余語やす子



万句の里俳句会

5月句会

ひたすらに嚙落す大樹かな
加藤 妙子
麦熟れて千畳敷の盆地かな
田中ひさ子
子等描く城の大小五月晴
東 鈴子
起きぬけの薨まぶしや柿若葉
稲田 羚子
庭に咲き見上げるだけの山法師
齊藤 貴恵
木洩れ日の届けば河鹿一せいに
梅田 昭子
日の色に染まり切つたる麦の秋
光本とよいち
ジーパンのからりと乾き夏来る
小山 照子
山門をくぐりて仰ぐ桐の花
田中 美智
旅の荷を解くや磯の香夏館
吉井 綾子
巢籠りに一途の眼ありにけり
丸山美代子
右左一望千里麦の秋
岩木 敬治

肥後狂句桜会

例会入選句集より

空回りイライラしよるサポーター
小川 繁美
はつとして慌てて襖閉めらした
高倉 新米
そるが人間 秀才も居りや馬鹿もおる
須藤 新生
空回り 屁理屈ばかり言い合わす
狩野 本六
思い出す 五分分したコッペパン
太田 雄三
そるが人間 一皮剥けば欲ばかり
安武 二山
思い出す 終戦の日の焼け野原
荒木 玄海
空回り 燃ゆる思いの伝わらん
窪田 明德

泗水短歌会

5月詠草

思い出す 知覧飛びたつ若桜
北村 竹刀
そるが人間 本音われんこつもある
藤野 清子
はつとして バックミラーにパトのおる
光堀 善教
そるが人間 ソロバン弾くくせんある
田尻 浩風
あますなく光耀よう初夏の風の爽やか泳ぐ鯉織り
平嶋きくえ
ふんだんに太陽を浴びて夜の雨にぐつと伸びたり
長尾はるみ
馬鈴薯二畝
五月雨の昨日と今日いや降り続き庭走水澄み切り流る
内田つね代
お裾分け頂き帰りて目を見張るお角力さんの如き大根
宮本 峯子
葉を食める虫の好みもそれぞれか松葉に太る毛虫をたたく
大島 ひと
三輪車のペダルは踏まずわが足で春風にのり走る幼な子
増田久美子
夫植へて四十余年の緋の牡丹逝きて三年今年も供う
福原美智子
娘が呉れし三年前のカーネション ピンク百花が今咲き盛る
中山 定子
息子待つキヤラ蕎麦を煮る初夏の夜瑠璃鍋に艶めき香る
高藤タツノ

せせらぎ俳句会

5月例会

新緑の丘ゆつくりと風車舞ふ
藤本アツ子
藤房へ幼なのジャンプまたジャンプ
五丁 義昭
霧や動員学徒でありし日も
藤本 邦治
暮れ残る狭庭に確かと雪柳
内村 鈴子
宮銀杏芽吹き白寿を祝ぎ呉る、
坂本まつえ
アメリカより帰りし吾子に桜餅
寺本 和子
昨日今日萌黄色増す柿若葉
服部 静子
温泉も菖蒲浮かせて待ち呉れし
内村 泊虹
穂麦田の夕日に輝らされ黄金色
(中二) 渡辺一史
ゆすら梅ちぎっては食べちぎっては食べ
(中二) 渡辺大寿

肥後狂句水笑会

5月例会

ねたくるひよつとこなつと踊るかい
三水
そるがたい もう後入りのきとらした
五女
なつとらん 誰か収穫しとる梅
水光
てれくさか 出逢った頃のラブレター
美由
なつとらん 空き缶投げて子は拾い
三代
しったかぶり 学者のこたる気でおらす
好茶

七城短歌会

5月詠草

会ひしなに嗚咽こみ上ぐ急逝の友のおだしき顔に手合わす
水田紗陽子
看護師の優しき笑顔に出会う朝パーをもらいて今日も生きなむ
森 道子
今日二倍に柿の葉広がる下道を元気を貰い老人車押し行く
斎藤 芳子
雷鳴に誘われればらば降る雹が庭の芝生に飛び跳ね踊る
高木 精
教わるは活路のこころ庭石の隙間に一茎パンジーの花咲く
吉間 充子
庭畑に飛び来し鴨がしきり啼く訴えたきこと吾も山ほど
岩崎 照代
霧の朝散歩の人影眼に追えば足取り軽がる亡夫の友なり
木下 陽子
新緑の庭に一本ハナミズキ真白き花の清楚が満ちる
岩津 涼子
湯の宿へ誘うを気遣い電話する友の返事は明るく
下川 つぎ
弾む
黄金色に花咲くジャーマンアイリスが縁に座し見るわが時間を拐う
堀 甲子

旭志文芸俳句会

5月詠草

杜若せせらぎの岸辺いろどりて
芹川のり子
明日句会ピーナツ除草に気もはづみ
出田みどり
くずれ散る芍薬白に紅に
水谷 ミネ
新緑や飛行機雲の流れ行く
郷 ミヤ子
青葉冷え信長像の美濃の国
芹川 蓉子
句碑たずね峡の青葉に癒される
東 芳子
しがらみの解けし夕べや春の月
中尾ヨシコ
看護師の声のびやかに五月かな
工藤 房子

